

# 自己実現 2022

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

## 〔第3回実力考査教科・科目別講評〕

### 〈国語〉

平均点は解答プリントに記載したが、**漢文の平均点は9.6点/40点の誤り**。全体として4割以上の平均点を期待したが、古典分野で大きく失点した。毎回反省点として挙げていることだが、古文単語・文法事項の基礎知識が不足しており、それほど難しくない文章でも人物関係や大まかな話の流れさえも正確に読み取れていない。中間考査以降の授業は共通テストの演習になる。それまでに、教科書教材の読解を通して基礎力 up を図ろう。

解答に当たっての注意を今回も書いておく。①設問をよく読むこと。設問条件の見落とし、問いに対する答えになっていない答案が目立つ。②傍線部は、前後の文脈も確認すること。傍線部しか見ていないと思われる誤答が多い。そしてもちろん、③傍線部自体をきちんと読むこと。傍線部は何を言っているのかの分析が、すべてのスタートラインである。

**評論**は、政治哲学に関する抽象度の高い文章。話題が次々に転換する繰り返しや言い換えが少ない文章のため、内容理解に苦勞した人もいたかもしれない。記述問題の字数に怯まずに取り組みしていたが、解答に直接関係しない部分への言及が多く、解答の核になる部分を意識せず漫然と記述した答案が多く見られたのは残念だった。客観式の問題でも得点が伸びなかった人が見られた。客観式問題といえども、自分の判断基準（要するに記述問題だったらどう書くか）を確立してから、選択肢吟味を行いたい。

**小説**は、長文であるが、現代小説で読みやすかった。それだけに、わかったつもりになりやすく、小説の中の表現、文脈の中の傍線部をきちんと捉えていない人は、思ったほど点数が取れなかったのではないか。主人公の境遇と性格、ささやかな出来事によって変化する心情を丁寧に読み取りたい。記述問題は、漠然と設問を読んで独りよがりな説明をするのではなく、傍線部に対応する注意深い解答作りを心がけることでもっと得点できた。

**古文**は、説話からの出題。夏休みの頑張りで、確実に力をつけてきている人もいる一方で、基本的な古語・文法（問一・二・四）も身につけていない人がいる。登場人物は三人のみで、わかりやすいストーリーであったにもかかわらず、人物関係を大きく取り違えている人も目立った。中間考査後の本格的な演習開始までに、基本的知識の見直しを図ろう。共通テストの出題を意識した選択肢問題（問六(2)や問八）の出来ばえの悪さも気になる。選択肢のどこに、どう着目していくのか、解説プリントを熟読しておこう。

**漢文**は、「病は気から」という単純なストーリーであったにもかかわらず、時間切れのせいか、解答欄に空白が目立った。助字の働き、疑問形・使役形など基本的な知識がある人は、前半部分で確実に得点できた。登場人物を取り違えている人や結末を読み誤った人もいた。サブテキストの読み取りは本文以上にできていなかった。ここでも限定形・不可能の形の理解が問われた。解説を参考にしてじっくりと復習しよう。

### 〈数学〉 平均点は、文系 51.9/200 理系 65.3/200（総合理学科 104.3/200）。

夏休みが明け、基本事項を押さえつつ、発展的な問題を出題しました。前回に比べて問題が難しくなりましたが、全体の平均点はほぼ変わっていません。74回生の数学の力が着実に伸びていることを表します。74回生全体が伸びているので、自分が成長していることに自分自身では感じづらいかもしれませんが、しっかり伸びています。自信を持ってください。各問いの基本事項については良く出来

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

ていました。秋からは実力錬成期です。身に付けた基本事項を土台にして実力をつけていきましょう。基本的なことが身につけていない人は焦ることはありません。自分のペースで着実に身に付けてください。焦ってやると、やっているだけで身に付きません。今後の数学授業も問題演習です。しっかりと自分で考えて、最後まで問題を解き切っていく過程の中で、計算力、思考力、答案作成能力がついていきます。また、当然ながら復習が大切です。扱っている問題は、他の問題に繋がる汎用性のある問題です。解けた問題でも別解を理解して自分の肥やしにしましょう。

#### 【今後の学習の注意点】

- ①公式、定理の証明は教科書を読み直して理解し、再現できるようにしておく。
- ②自分が誤答した箇所の明確な把握を心掛ける。
- ③正解した自分の解答だけではなく、別解が書かれた解答も理解する。(一つの解き方に固執することのないように!)二次対策を授業に沿って11月下旬までしっかりしていくことが共通テスト対策にもつながる。

### 〈英語〉

今回の実力考査は、前回とほぼ同じ構成でした。相変わらず問題量が多く、どれも中途半端で白い答案が目立ちました。平均点は半分以下ですが、8割近くできる人もいるので、次回もこれくらいの分量、これくらいの難易度でしょう。さて、どうしますか？

「対策」はある程度、必要だと思います。自分は私立大学しか受けないから、記述は適当でいいや、これは学校の実力考査で、合否判定が出るわけじゃないからゆっくりやろう、など、点数が悪いことへの言い訳をしてしまいがちです。でも「英語」という科目はほとんどの人が、大学進学後、大学卒業後もついて回ります。理系の人は英語の文献を読み、研究は英語で発表しなければなりません。もちろん、質疑応答も。その時、文法的に間違いだらけの発表をすれば、どう思われるでしょう。研究の値打ちが伝わらないかもしれません。文系の人も、外国相手のビジネスで失礼な英語を使うと、そのビジネスチャンスはどうなるでしょう。今、何もかも完璧にする必要はありませんが、せめて学校の授業内容くらいは、きちんとできていても悪くないのではないのでしょうか。

高校時代に養った英語力がこれからもあなたの人生に役立ちますように。そう願って、先生たちは授業をし、考査を作成します。

### 〈物理〉

詳しい問題の出題意図については試験当日に解答と一緒に配布した用紙を参照のこと。

#### 1 等速でない円運動(記述式)。

**誰もが一度は解いたことのある問題。**30点以上とれるようにしておきたい。記述欄に式のみを書いている答案が見受けられた。改善すべきである。多量に文章を書く必要はないが、**初めの立式は変形や計算をせずそのまま書き、何の関係を表した式か言葉で書く。**これは徹底しよう。これだけで採点者に内容を理解していることが伝わる。特に神戸大学等の二次試験がオール記述式の大学を志望している人は、普段の演習から答案記述を意識して訓練すべきである。得点率と標準偏差をみると、普通科の人は力学の基礎がまだ確立されていない割合がとても高い。力学の問題演習に時間を割く必要がある。頑張ろう!

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

## 2 熱力学

空欄補充の問題ではあるが難易度は高く、典型的ではない問題。**ア**～**エ**は一般的な気体分子運動論。必ず解けるようにすべき。**オ**はピストンが外力によって一定の速度に保たれているため、運動量が保存されないが弾性衝突する。条件設定を見抜くのが難しい。**カ**～**コ**は徐々に問題文の誘導にそって書かれた文章を式にしていく。**サ**～**シ**は近似の適用問題。あまり見たことがない問題は、まず現象を式で表してみることで見通しが立つ場合が多い。また、二次試験では近似を様々な物理現象に適用する問題が出題されることがある。特に京都大学を志望する人は毎年のように近似の問題が出題されている。自分の受ける試験の傾向に合わせて準備をすることも大切なことである。

## 3 電気磁気学(コンデンサーとコイル)

学習順序的に後半になるため、現役の高校生は電磁気(特に交流)を弱点にしがちである。コンデンサーに電荷がたまることで電位の高低ができる。回路内の電位の高低を理解することで、回路を流れる電流がどうなっているかイメージできるようになる。どの大学でも必ずと言ってよいほど1問は電磁気学の分野から問題が出題される。大阪大学等、大学によっては回路に抵抗、コンデンサー、コイルなどの電気素子を付け電流を流す様子をよく聞いてくる傾向がある。

グラフの概形を描かせ、時間変化する様子を問う問題も解答できるよう訓練しておきたい。共通テストでもセンター試験に比べてグラフを選択、読み取る問題が増えている。

※平均点の値に対して、標準偏差の値が大きいということは個々の得点のばらつきが大きいことを示している。つまり…多くの人が努力で改善できる要素を多数持っている。

	問1(力学)	問2(熱力学)	問3(電磁気学)	
	35点満点	30点満点	35点満点	/ 100
普通科平均	17.6	5.7	6.1	29.3
標準偏差	10.8	6.2	6.7	19.1
得点率 %	46.2	19.1	19.2	29.3
総理科平均	29.0	13.6	10.8	53.4
標準偏差	7.6	8.0	7.8	18.2
得点率 %	76.2	45.2	33.8	33.5

## <化学>

平均点は上がり、基本問題は多くの生徒が点数を取れるようになっている。第4問の有機化合物の問題(3年生1学期に学習)は、二次試験で得点源となる分野であるが平均点は低い。夏休み中の復習が理論分野にとどまってしまったこと、演習が足りないことによる時間不足が要因であると思われる。2学期は授業で学習する高分子化合物分野はもちろん、自主学習として

引き続き有機化合物分野の復習に取り組み、強化をはかってほしい。また、計算問題については、ほぼすべての問題で正答率が10～30%程度であり、低い結果となっている。配点の高い計算問題が一つでも多く解けることが合格への鍵である。演習を重ね、計算問題に対応できる力をつけてほしい。

大問	平均点
1.小問集合	15/30点
2.鉄さび・電気分解	12/27点
3.化学反応の速さ	10/21点
4.構造決定(芳香族)	9/22点

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

## 〈生物〉

今回のテストでは、大問③ (23%)、④ (1.9%) の正答率が大変低く、どちらも遺伝情報に関する思考問題であった。③のプライマー配列を問う問題だが、シグナルペプチド部分や、166 個目のアルギニン、そして終止コドンを除いて考えなくてはいけないことに気付いていただろうか? 「成熟型 EPO」に相当する DNA 配列であることを忘れないように。プライマー配列の問題は頻出なので、是非マスターしてもらいたい。④の3) は150字の記述問題であった。優性、劣性を遺伝情報の発現の違いととらえる視点を持ってほしい。また、④の4) ~6) は連鎖と独立の組み合わせさせた3遺伝子雑種の問題であった。ひとつひとつ解いていくことで6) の計算問題が解けるようになっていく。メンデル遺伝の問題は基本事項が習得していないと実践問題には通用しない。今回の問題を復習することで、基本事項の徹底、および実践力の育成に努めてほしい。

大問	平均点
1 呼吸・細胞接着	9/26点
2 血糖調節・腎臓	11/31点
3 遺伝情報の発現	5/22点
4 遺伝子発現の調節	2/21点
平均点：全体26点,	

## 〈世界史〉

既習事項の定着と理解度の確認を目的に、古代から現代まで広範囲に出題し、地図や年号を問うような問題も出題した。論述問題は中国の外交体制の変化とグラックス兄弟の改革に関する出題で、内容的には基本的な問題であったが、理解がしっかりできていない解答が目についた。平均点は前回より伸びており、勉強をし始めた成果が出つつある。

これからは、歴史の流れを理解することが、最も大切で、繰り返し復習し、知識の定着をさせる事が大切である。共通テストは歴史の流れと知識を理解しているかを問う問題の出題が目立つようになっていく。決して難しくはないが、以前のセンター試験より歴史の理解力が必要となった。教科書を丁寧に読み込み、授業をしっかりと聞き、小テストにまじめに取り組めば、成績は上がっていく。この秋からが、世界史学習の季節である。

## 〈日本史〉

**平均点 45.9点。** 原始・古代を5割、近現代を5割で、共通テスト問題に準じた正誤問題、私大問題に準じた一問一答問題、国公立大学二次問題に準じた簡単な論述問題等を出題しました。難易度は基礎基本から難解な問題も出題しましたが、今回も受験生の苦手とする文化史・経済史を多く出したので、かなり苦戦したように思われます。論述問題は一見難しそうですが、今回の論述は基本用語を問う問題だったので、その用語を繋ぎ合わせれば解答に導けます。また、簡単な基本用語の漢字を間違えている生徒もいました。共通テストしか必要ない人はいいいですが、論述の誤字も減点の対象となるので、漢字で正確に書けるようにしてください。社会科は今からが勝負です。今後の頑張りを期待します。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

## 〈地理〉

業者模試の過去問を中心に出题しました。2.の問題、相変わらず地形断面図は正答率が低いです。地図をよく見る習慣を。3.の、ほぼ同緯度の都市の月別平均気温の問題は、立地場所の違いによって特に冬の気温の違いを見極める、よく出題される問題です。答えてほしかった。極東の地ウラジオストクの冬はシベリア高気圧の影響で非常に寒い。

9.の地形図の問題も常識問題で答えてほしかった。等高線から1:25000か1:50000を判断して地図上の長さを実際の長さに換算し、そこから面積を求めるように。25.のアジアの問題、マレーシアの公用語はマレー語のみ、が出来ていませんでした。プミプトラをしっかりと理解して下さい。38.の水産業の問題は、2005年頃より、普通に獲る漁業より養殖が上回るようになった。養殖はエビの養殖も含まれる。時間があれば地理統計(3年生で教科書と一緒に購入しました)をじっくり眺めてみてください。

### 平均点 約51点

40.の解説のIWCの英文名称International Whale CommissionはWhalingの間違いでした訂正します。

## 〈倫理政経〉

**政治経済分野**の平均点は14.0/50。既修範囲の政治理論、憲法、日本の政治機構とその歴史が出題範囲である。とくに気になる点は2点。第1に39のように衆参両院の基本的な選挙制度に関する問いの正答率が低いことである。ほかにも内閣の権限、衆参両院の権限の範囲に関する問題も正答率が低い。政治制度と制度の細かな違いを暗記しきれていない様子が見受けられるのでぜひ復習してほしい。各国の政治制度・内閣・国会・裁判・地方自治体はそれぞれの中身の細かい違いや権限の範囲がよく問われるので、比較して取り違えないようにする必要がある。

第二に戦後政治史や憲法成立史など歴史に関する問題の正答率が低いことである。歴史関係の問題は政治分野としては既修範囲では日本国憲法成立・55年体制の成立と崩壊・90年代の政治改革がポイントになる。日本史と重なる範囲なので手を抜きがちになるが、出題される可能性は十分あるので、政経ならではのポイントを意識して学習してほしい。

なお授業で細かく触れていないが憲法にかかわる主な裁判は違憲か合憲か憲法判断をしていないかということに注目して覚えてもらいたい。

**倫理分野**の平均点は24.3/50。ギリシアから日本の国学までの源流思想と青年期の問題を出題範囲とした。世界の源流思想は正答率52%で、正答率が高い問題もあるが、思想家の考えの方の間違いを文脈から読み取る所で落としている問題が目についた。日本の思想は正答率が34%。空海や熊沢蕃山、江戸時代の朱子学の思想を問う問題で取りこぼしがめだった。青年期の問題は正答率が64%。資料読み取りはよくできているが、青年期について述べた思想家の整理をもう少しつけて置くべきと考える。倫理は選択肢の文章をよく読み、その内容の違いを読み取る訓練を今後つけていく必要があると考える。

■全体に関するアドバイス：今回の校内模試はもとより今後受験する模試はできなかったところの見直しをしましょう。弱点を知りそれを克服することで基礎力及び思考力が身につきます。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

## [8月第2回全統マーク模試(8/16実施分)・最終集計結果について]

得点分布表はHPには掲載していません

**【概評】** 過年度と比較して24.1点近く本校平均点が下がっていますが、全国平均点も同様に25点近く下がっています。英語・数学・理科の難化が原因だったようです。分析をしてみるとこれから伸びしろが期待されるのは国語では古文・漢文、数ⅠAでは場合の数と確率とデータの分析、数ⅡBで数列、物理では力学の分野が挙げられます。また社会は例年浪人生を対象に作問されているので現役生が未履修分野があり高得点が望めない傾向があります。平均点の下降はしましたが全般的にはよく頑張っています。復習をきちんと行い弱点の補強をしていきましょう。

**① 10/1(金)・2(土) … 第4回実力考査(第2回ペネッセ・駿台記述模試)**

〈時間割〉

- ・ 9/27(月)～9/30(木) いずれかの終礼(SHR) 受験届記入
- ・ 10/1(金) 放課後  
15:25 着席完了 15:30～17:10 英語+リスニング(100)
- ・ 10/2(土) 08:20 着席完了

1～3組

08:30～10:40 地歴公民(130)

10:50～11:50 理科(60)

1～9組 12:25 着席完了

12:30～14:10 国語(100)

1～3組

14:20～16:00 数学Y(100)

4～9組

08:30～10:40 理科(130)

10:50～11:50 地歴(60)

4～9組

14:20～16:20 数学Z(120)

**【後記】** 共通テストの取りまとめが完了し、9/27(月)に発送予定です。天候が危ぶまれる中コロナ禍で縮小版でしたが無事体育祭も行われ、皆発刺と楽しんで取り組んでいるのが印象的でした。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。